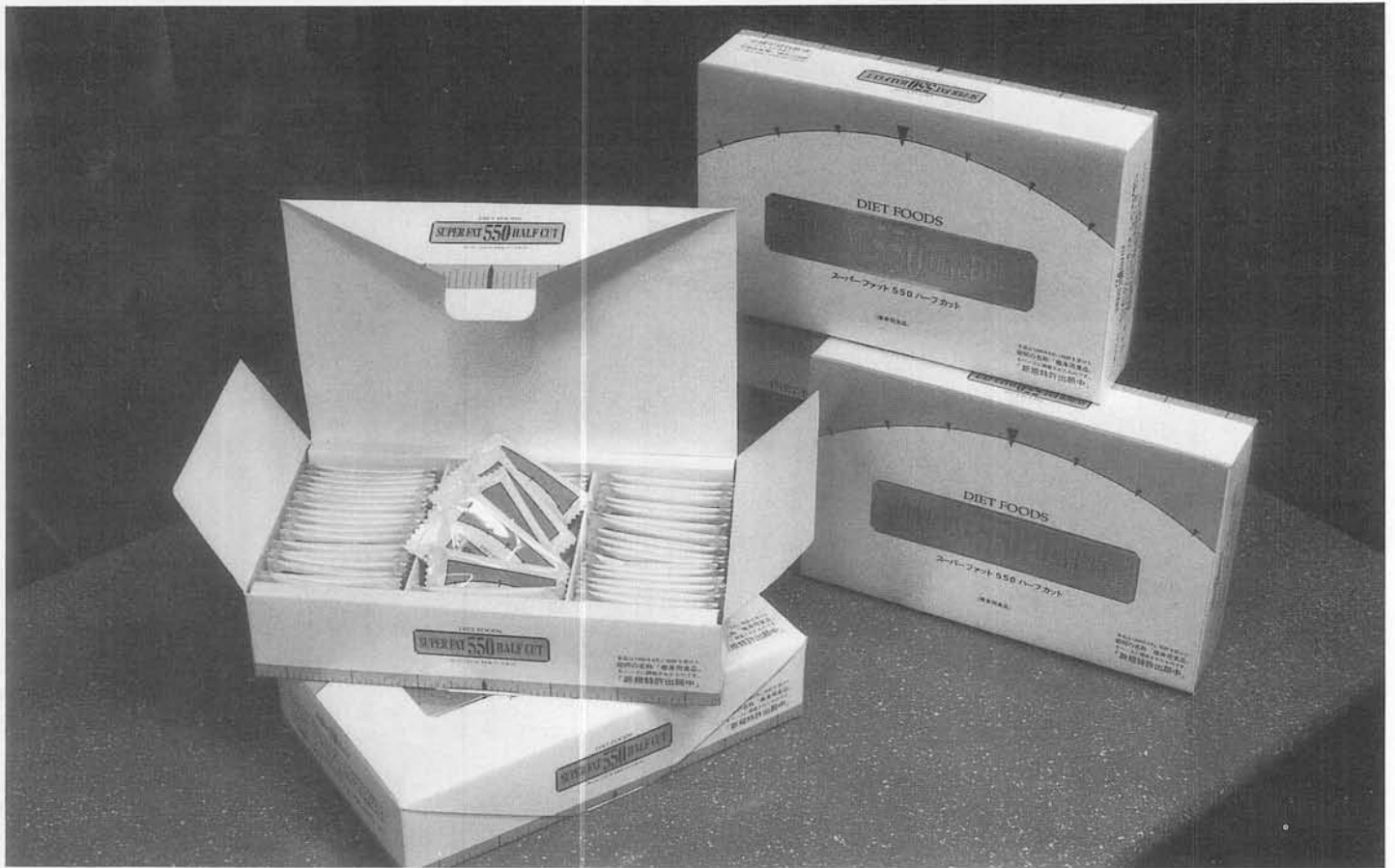


お値段は50粒入り15,000円。千円/100gが贅肉のお値段なり。



ダイエットの夢をかなえる 魔法の食品、ついに発明？



有効成分はペプチド・γ-リノレン酸・α-サイクロデキストリン・ギムネマエキス。寝る前のおまじないとしても効き目がありそう。

前略 食欲さま

あなたなしでは生きてはいけない私なのに、いつも日陰者扱いにしてごめんなさい。人前ではわざとあなたの存在を無視してみたり、籠の鳥のような扱いに耐えきれなくなったあなたの週末の暴走を許してしまったり。ワガママな私につきあってくれて、ほんとにありがとう。

だけど、今度こそ朗報。公の場であなたの活躍がみられそうよ。ファット55っていう、強い助っ人が登場したんだもの。正式名称は「スーパーファット550ハーフカット」。88年に特許を受けた痩身用食品が、10月からいよいよ形を整えてデビューしたんだけど、京都で扱っているのはバレ・ド・ディユというエステティック・サロンだけ。

この発明が画期的なのは、糖分と脂肪分の吸収を50%から

70%も阻害すること。つまり、もう苦しい食事制限の必要はないってことなの。だからダイエット食品にありがちの「おなかの中で10倍にふくらむから、みるみる食欲が抑えられます」的な、あなたへの悪口は一切なし。1日3回、食前に1錠ヨーグルト風味のタブレットを食べるだけで、平均的なカラダなら月に3kg程度の減量ができるそうよ。

今度こそ、私たち幸福になれそうね。ただし、最低3ヵ月は続けないと効果が出ないそうだから、くれぐれも短気を起こして暴走するのはやめてね。

あなたの永遠の相棒・慢性ダイエットより

PS..商品に関する問合せ・申込みはバレ・ド・ディユまで。☎351-2530

ライター/大音美弥子

10月24日、妙心寺。数多くの悲しみにつつまれた正午だった。



出棺に当たり、遺族から参列者へお礼の辞が述べられる。その場にいる人々に、言葉はなかった。

老舗の看板と独特のスタイルを守り続けた人、逝く。

彼と、彼のバー「京都サンボア」にまつわるエピソードを並べれば、きりが無い。昭和3年、彼の父が開業し、そのあとを継ぐかたちでバーテンダーとなった彼は、けっしてその独特のスタイルを変えようとはしなかった。ウイスキーを注文されたら、必ずダブルを出す。南京豆の皮をテーブルに置くと、「床に捨ててください」という。カウntaxーに肘をつけて酒を飲む客がいれば、「お酒はそんな姿勢で飲むものじゃありませんよ」といって、姿勢を正してもらおう。彼のそういった言動は、飲む側にとってみれば口うるさく感じられるほどだ。しかし、彼のそういう頑固さやこだわりを察するか、この店をこよなく愛し、集う人々の列は絶えなかった。彼の名は中川英一。10月22日、急性心不全のため、帰らぬ人となった。

24日に行われた葬儀には、町内の友人や会社関係者のほか、彼の店に通いつづけた多くの常連客も軒を連ねた。「頑固者」という形容詞で語られることの多い彼ではあったが、こんなエピソードも残している。結婚前から足を運んでいたある夫婦が、まだ小さい子供を連れて店へと出掛けた。Tシャツで訪れた人を追い返したほどの人である。当然入店を拒否されると思われたが、彼は子供を預かり、二人に酒を出したという。こんな優しさも、客にこころゆくまで酒を飲んでもらいたい、という願いからだろう。彼はバーという空間を、真に酒の楽しめる場所としたのである。

数々の逸話と看板は、彼の長男である宏さんへと受け継がれた。そして彼の心もまた、受け継がれることだろう。

ライター／藤枝雅一